



スクールカウンセラー（SC）について

スクールカウンセラー（SC）とは、学校内において様々な不安や悩み、ストレスなどを抱えた児童生徒、その保護者に対して、心理面でサポートする専門家です。

スクールカウンセラーは不登校、長期欠席、いじめ、暴力行為など、学校における様々な生徒指導上の状況に対応するだけでなく、これらの兆候を逃さず、早期に発見することも期待されています。

とりわけ不登校については近年、全国的に増加傾向にあります。「不登校」とは「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、あるいはしたくともできない状況にあること。（ただし、『病気』や『経済的理由』、『新型コロナウイルスの感染回避』を除く。）」（文部科学省より）を言います。周囲の大人が子どもたちのSOSを受け止め、組織的対応を行い、必要があれば外部の関係機関などにつなげて対処していくことが重要であり、対

策として、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係機関との連携による教育相談体制の充実を推進することが大切です。

本市小・中学校においても、スクールカウンセラーは児童生徒や保護者、教職員からの相談を受けたり、それに対する助言を行ったりしています。また、個別の相談活動だけではなく、授業時間や休み時間などの日常的な行動観察から児童生徒の心理状態を把握したり、ケース会議に参画し、心理の専門家としてケースのアセスメント（見立て）やプランニング（手立て）を提示したりしています。さらに、いじめや不登校などの校内対策会議に参画し、学校の教育相談体制の構築や充実のための助言も行っています。スクールカウンセラーに関する問い合わせや相談の申込は、在籍する各学校や、学校教育課までお願いします。

学校園紹介



地域に支えられる大木小学校
～大木小学校～

大木小学校は周囲を山々に囲まれた自然豊かな農村地域の中にある学校です。市内全域から通学する特認校で、全校児童数37人の小規模校です。特徴的な取組として、ジャガイモやサツマイモ、米（稲）、大根などの苗植えや収穫などの体験を毎年行っています。この取組は地域のみなさんが事前準備や日頃の田畑の手入れなど、日々のお世話のおかげで実現できているものです。



今年は新型コロナウイルス感染症の取扱いが変わり、4年ぶりに地域のみなさんを運動会に招待することができました。子どもたちの演技や競技を見たり、玉入れ競技にも参加したりしました。大木小学校はこれからも地域のみなさんにご協力いただきながら、特徴のある取組を進めていきたいと考えています。



出合いを大切に
～長坂小学校～



長坂小学校は人権教育において「出合い」を大切にしています。子どもたちは学習内容に関する人に出会うことで学びを深めています。

9月に6年生は修学旅行へ行き、広島で被爆された人のお話を聞くことができました。その人は3歳の時に原爆が投下された後の広島市を訪れ、被爆されたということでした。戦後、就職するときに被爆者差別があったことや、被爆体験を伝えるためにアメリカへ行ったことを話していました。その中でもアメリカを訪れてたくさんの人と触れ合った時に、実際に会うと良い人たちばかりだったこと、敵味方という考えがなければ人と優しく接することができるということも話していました。約1時間のお話でしたが、子どもたちは一言も聞き漏らさないようにメモを取っていました。また、お話の後には一緒に記念写真を撮ったり、握手をしたりと交流を深めました。

人は様々な人に出会う中で成長していきます。直接出合い、お話を聞くことで教室では得ることのない大切なものを心に感じるすることができます。長坂小学校はこれからも「出合い」を大切に人権学習を進め、未来へはばたく「ながさかっこ」を育成していきます。

